

こころをつなげて、
四国はひとつ



四国遍路を 世界遺産に

国際シンポジウム



入場
無料
先着200名

令和2年1月25日(土) 13:15~16:30
愛媛大学南加記念ホール

■ 基調報告

「四国遍路の顕著で普遍的な価値とは」

金田 章裕 氏 京都府立京都学・歴史館館長 京都府公立大学法人理事長 京都大学名誉教授

■ 基調講演

「世界文化遺産の動向とアジアの巡礼」

ガミニ・ウィジェスリヤ 氏 ICCROM (文化財保存修復研究国際センター)元サイトユニットプロジェクトマネージャー
ICCROM特別顧問 WHITRAP (ユネスコ・アジア太平洋地域世界遺産研修研究所) 顧問

■ パネルディスカッション

「四国遍路の価値と世界文化遺産登録に向けた課題」

コーディネーター

稲葉 信子 氏 筑波大学大学院世界遺産専攻教授

パネリスト

ガミニ・ウィジェスリヤ 氏 ICCROM (文化財保存修復研究国際センター)元サイトユニットプロジェクトマネージャー
ICCROM特別顧問 WHITRAP (ユネスコ・アジア太平洋地域世界遺産研修研究所) 顧問

胡 光 氏 愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター長

鈴木 地平氏 文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室文化財調査官



開会の前に愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センターとの
連携協力に関する協定締結式を行います。

四国遍路展(同時開催)

日時:令和元年12月25日(水)~令和2年1月27日(月)

場所:愛媛大学ミュージアム(松山市文京町3番地)

展示名:「四国遍路と弘法大師信仰」(後期展)

参加ご希望の方は、事前に裏面の記載方法でお申し込みください。

※駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催/「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会

共催/愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター

お問合せ/愛媛県 スポーツ・文化部 文化局 まなび推進課

TEL:089-947-5622

FAX:089-913-2617

MAIL: manabisuishin@pref.ehime.lg.jp

令和2年1月25日(土)

時間 / 13:15~16:30



こころをつなげて、
四国はひとつ
四国遍路を
世界遺産に
国際シンポジウム

基調報告

「四国遍路の顕著で普遍的な価値とは」



金田 章裕 氏

京都府立京都学・歴史館館長 京都府立大学法人理事長 京都大学名誉教授
専門は人文地理学。文化庁世界遺産特別委員会委員長代理。宇治茶の世界文化遺産登録検討委員会委員長を務めるほか、日本の自然や文化的景観の保全に関する数多くの活動に関わる。著書に「古地図で見る京都」(平凡社)、「古代国家の土地計画」(古川弘文館)など。

基調講演

「世界文化遺産の動向とアジアの巡礼」



ガミニ・ウイジェスリヤ 氏

ICGROM(文化財保存修復研究国際センター)元サイトユニットプロジェクトマネージャー
ICGROM特別顧問 WHITRAP(ユネスコ・アジア太平洋地域世界遺産研修研究所)顧問
スリランカ生まれ。世界遺産の研究など40年以上の経験有する遺産の専門家として国際的に知られ、スリランカやニュージーランド政府の遺産保護に関する要職やICGROMプロジェクトマネージャーを務めた。ライデン大学の博士号などを有する。現在、ICGROM特別顧問。UNESCOの能力開発を担当。著書多数。



南加記念ホール
愛媛大学南加記念ホール
松山市文京町3番地

※駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。

パネルディスカッション

「四国遍路の価値と世界文化遺産登録に向けた課題」



コーディネーター

稲葉 信子 氏

筑波大学大学院世界遺産専攻教授

専門は建築学、世界遺産論。文化庁、国際機関ICGROM(派遣)、独法東京文化財研究所を経て2008年から現職。文化審議会専門委員、ICGROM事務局長特別アドバイザー、イコモス会員。世界遺産条約等を通じて、遺産保護に関する先端的議論に参加するとともに、諸外国の国際協力事業に携わってきた。



パネリスト

ガミニ・ウイジェスリヤ 氏

ICGROM(文化財保存修復研究国際センター)
元サイトユニットプロジェクトマネージャー
ICGROM特別顧問
WHITRAP(ユネスコ・アジア太平洋地域世界遺産研修研究所)顧問



パネリスト

胡 光 氏

愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター長

愛媛大学法文学部教授、四国遍路・世界の巡礼研究センター長。専門は日本近世史。香川県歴史博物館学芸員を経て、2011年に愛媛大学准教授、2014年より教授、2019年から現職。四国内の社寺総合調査を精力的に実施。著書に「四国遍路と山岳信仰」(共著、岩田書院)など。



パネリスト

鈴木 地平 氏

文化庁文化資源活用課
文化遺産国際協力室文化財調査官

京都大学大学院文学研究科(地理学)を経て、2005年より文化庁技官(文化的景観)、2015年より現職。北海道・北東北の縄文遺跡群の推薦や長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の保全に携わる。主な著作に、「都市の文化と景観」(共著)など。

お申し込み方法

参加希望の方、必要事項をご記入の上、ファックスまたはEメールのいずれかにて申し込みください。

締切: 令和2年1月17日(金)

※先着順で受付させていただきます。(定員200名) ※定員に達してご参加いただけない場合は、ご連絡いたします。

[FAX] 089-913-2617

[Eメール] manabisuishin@pref.ehime.lg.jp

●以下のFAX参加申込書にご記入の上、お送りください。

●お名前・住所・電話番号・参加人数をご記入の上、上記アドレスまでお送りください。

1/25 国際シンポジウム FAX参加申込書

お名前(フリガナ)		参加人数		名
住所	電話番号	-	-	
	FAX番号	-	-	
お名前(フリガナ)		参加人数		名
住所	電話番号	-	-	
	FAX番号	-	-	

ご記入いただきました個人情報は、厳重な管理のもとに、本シンポジウムに関してのみ使用いたします。



FAX: 089-913-2617